

学校・家庭・地域をつなぐ学校だより

やぶつばき



四日市市立八郷西小学校 第26号

令和5年 1月23日

20日は「大寒」でした。「大寒」とは、一年で一番、寒さの厳しい時期のことです。確かに、寒波が日本列島を覆い、今週は降雪の予報が出ています。

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザの流行が心配されています。

学校では、これまでどおり、感染症対策に十分気を配っていくとともに、子どもたちと健康な体作り、生活づくりについて考える機会をもっていきたいと思います。

1年生 手洗い指導

3学期がスタートし、各学年で発育測定が行われました。そして、その後の時間を使い、養護教諭による保健指導が行われました。



1年生では、手洗い指導を行いました。子どもたちに、汚れに見立てたハンドクリームを手にぬってもらい、いつものように手を洗って、ブラックライトを当てると、「わあ〜」「洗ったはずなのに……」

あちらこちらに、洗い残しがあることが見てわかった子どもたちは、もう一度手洗い場へ向かい、今度は、指と指の間、掌のくぼんだところ、関節部分、手首を、石鹸で時間をかけて洗い直していました。

なわとび月間（1/16～2/10）

始まったばかりのなわとびの取り組みの中で、早速、「キラリ★かがやき」みつめました！



みつめたよ!!
キラリ! かがやき

月・火・木は、個人で短
なわの練習を水・金は、
学級で長なわの8の字跳
びの練習をしています。
各学年で、目標を決め取
り組んでいます。

3年生の目標は『みんなが頑張れるように声かけをする。失敗「ドンマイ」、成功「その調子」』です。「ドンマイ」と「その調子」と

っても素敵なことばですね。ともにみがき合い、かがやく子どもたちの姿が、目に浮かびます。目標づくりの中に、子どもたちのこれまでの経験や学びが活かされていることを感じ、嬉しく思いました。

避難訓練 (1/12)

3学期は、予告をせずに全校で避難訓練を行いました。今回は、地震の後に湯沸室から火災が発生したという想定で、子どもたちに避難指示を出しました。



【起震車による震度7の揺れ体験】



5, 6年生防災教室 (1/13)



避難訓練の翌日、5, 6年生で防災教室が行われました。四日市大学の副学長 鬼頭浩文 教授をお招きし、「災害時、自分たちができること」という演題でご講演いただきました。

東日本大震災等の災害ボランティアの活動経験から、実際の被災地域の様子や災害後の生活、必要とされる支援について、具体的なお話を聞かせていただきました。

【発電機の使用体験】



【簡易トイレの設営体験】



5, 6年生の防災教室では、起震車による震度7の地震体験も行いました。また、八郷地区防災連絡協議会から4名の方に来ていただき、発電機の使用体験や簡易トイレの設営体験も行いました。

児童(6年生)の自主勉強「防災教室のふり振り返り・感想」から抜粋

- ・地震体験車：私の番になって、震度6とかになったとき、すべっていきそうになり、とても怖かった。
- ・地震は、いつ起こるかかわからないから、事前に食料とかの準備をして、すぐ避難できるようにしたいです。
- ・地震が起きたら、「お・は・し・も」を思い出し、冷静に行動しようと思った。そして、避難所へ行ったらお手伝いをしようと思った。



我々の住む地域も大きな地震による災害が高い確率で予測されていると、訓練や防災教室の中で、子どもたちへ伝えました。子どもたちには、体験的な学びを通して、実際の災害時に自分の命を守る力を身につけることは勿論、防災意識を高め、家族と一緒に備えについて考え実践し、地域住民の一員として、いざというときに活躍しようとする心を育てていってほしいと思います。そのために、地域・家庭・学校が連携した防災学習を進めていきたいと思います。

◇ お知らせ ◇

*1月26日(木)は、フリー参観日です。校内書写展も開催しております。業間休みには、なわとびの練習の様子も参観ください。5限目は、体育館で学校保健委員会を開催します。ぜひ、ご来校ください。なお、当日は、通常日課のため、子どもたちの安全確保のため、車での来校はご遠慮願います。